

## 井原市公共交通会議（第2回） 会議概要

と き 平成23年7月19日（火）

16:00～17:00

ところ 市役所5階 501・502会議室

### 1. 開 会

#### 1) 会議の成立を報告

・出席者 委員23名中 実出席16名 代理出席1名

#### 2) 三宅会長あいさつ

#### 3) 自己紹介（事務局）

### 2. 協 議

今後のスケジュール及び事業概要について（平成23年度～平成25年度）

#### ・事務局説明

（三宅会長） 委員のみなさんからご質問等はないか。

（事務局） 「公共交通祭り」については、交通事業者や関係団体とともに立ち上げる実行委員会において具体的な内容の検討を行う予定。次回の公共交通会議において具体的な内容（日時、場所、事業費及び催しの詳細など）を提案したい。

（三宅会長） これまでに開催された住民意見交換会において出された意見の中で、今回のスケジュールや事業概要に反映されている、又は、これから反映される予定の項目はあるか。

（事務局） これまでにいただいたご意見を路線・ダイヤの見直し案に反映する作業はこれからであるが、ご意見を参考にして案を作ろうと考えている。本年度に見直しを行う地区については、その案をもって、本年度中に意見交換会をもう一度開催する予定。

（三宅会長） 地区代表の委員の方から、路線・ダイヤの見直しに際して利用する側からのご意見があれば伺いたい。

（委員） この公共交通会議の場では、「住民が公共交通を利用してお店や病院などに行く方法」を中心に検討されているように思う。一方、産業界では、移動販売のような「お店の方が住民のもとへ行く方法」が検討されている。互いに調整を図ることで、買い物や通院といった日常生活を支援するサービスが提供できるのではないか。地域の生活交通である公共交通の利用者には、介護が必要なお年寄りや、学校に通う児童・生徒や通勤者など、様々な立場の人が含まれる。福祉や商工関係など様々な分野で検討されていると思うが、それぞれの分野で施策を個々に検討しても意味がないので、この公共交通会議を活用して、統合的な施策立案に向けた方向性を打ち出すことができればと思う。

（三宅会長） ご指摘のとおり、住民の移動（モビリティの確保）に関する統合的な施策を検討するのが企画課の役割であると考えているので、今後調整していきたい。

(委員) 先日、芳井町で会合があった際に、高原地区の方から、北振バスが通っている県道まで坂を下りるのに時間がかかるという意見が出た。1便でも良いから西から高原地区に上がって東に下りる便を設けてもらうと便利になる。同地区で行われている道路工事の完了にあわせて検討していただければと思う。また、昨年、高原、陰地、大内谷・高瀬の各地区において予約型乗合タクシーが運行されているが、乗降場所まで出向くのが不便なため利用者が少ないと聞いている。自宅の前で乗り降りできるとか、路線バスとの接続を見直すといった改善策を検討していただければと思う。

(三宅会長) 予約型乗合タクシーについては、自宅から目的地まで不便を感じることなく移動できるよう、経路、ダイヤ及び路線バスとの乗り継ぎについて見直す予定。自宅の前までの路線延伸については重要な点であるが、住民のニーズと実際の利用状況を踏まえ検討・調整したい。

(委員) 路線を拡大すると、市の補助金や持ち出しが増え、また、バス事業者としても運行経費が増大する。運行経費をどうするのかといった問題は必ずつきまとうが、地域住民の移動手段を確保することが第一であり、採算性を念頭においては話が進まないと思う。あくまでも利用者の立場に立って、路線やダイヤの見直しを行うことが重要である。

(三宅会長) 先程、高原地区の話が出たが、同様な問題を抱える地区においても同じように考えることが必要であり、市の負担額も考慮しながら調整を図りたい。

「井原あいあいバス」については、当初は3ルートで運行を開始し、後に路線を拡大した経緯がある。地域の要望に応じて、最大で10路線まで増やしたが、利用者の少ない路線は廃止となった。一方で、野上線やぶどうの里線では、当初の見込みよりも多くの方にご利用いただいている。実際に運行してみて初めて見えてくる課題もあるので、今後は様々な試みに取り組んでいきたい。

他にご意見がなければ、この内容で、今後取り組みを進めていきたい。

委員拍手（協議事項承認）

### 3. 報告

#### 岡山大学との交通まちづくり共同研究事業について

・事務局説明

・橋本准教授(岡山大学)から事業説明

(三宅会長) お金が回ることによって地域が活性化するという一方で、公共交通における赤字の議論をしているだけでは、地域がうまくいかないという主旨であったかと思う。

橋本先生のお話に関して、委員のみなさんからご質問等はないか。

質問なし

### 4. 閉会

仁科副会長あいさつ